

# 岐阜県文化財保護協会「第5回文化財講演会」

- 日時 ● 令和2年 **12月1日(火)** 13:00～  
会場 ● **グランヴェール岐山カルチャーホール**  
岐阜市柳ヶ瀬通 6-14
- 主催 ● **岐阜県文化財保護協会**  
後援 ● **岐阜県／岐阜県教育委員会**  
募集定員 ● **先着 150名** (コロナ対策のため事前予約制とします)

会員以外も  
参加自由

会員の方も  
参加希望の場合は、  
保護協会までご連絡  
ください。  
(058-214-9112)

\*マスク着用をお願いします。 \*体調不良の方は、入場をお断りします。

## 第1部 詩吟吟詠 13:00～13:10

心陽流詩吟学院 理事長 **久保田信風氏**

## 第2部 演奏会 13:15～14:00 「ソプラノ独唱」 **大熊 径氏**

大熊径(おおくまけい)氏は、岐阜県生まれ。2歳よりピアノを弾き始め、高校からピアノソロと伴奏、室内楽でプロ活動を始められました。大学から声楽専攻となり、日本とウィーンを中心に演奏活動を行い、教育機関や地域等への音楽普及活動に力を入れておられます。現在、ウィーンミュージックアカデミー代表、音楽集団ヴィエナ主宰、合唱団コン・フォーク演奏指導・指揮者、大垣音楽人クラブ会員、東京国際芸術協会会員、文化庁派遣芸術家など、多数の肩書きを持ち、活躍されています。



## 第3部 講演会 14:15～15:45

講師 **京都産業大学名誉教授 所 功氏**

演題 「日本書紀から美濃古代史の謎を解く」



所功(ところいさお)先生は、1941年岐阜県生まれ。大垣北高校から名古屋大学、同大学院をご卒業になり、学位論文『平安朝儀式書成立史の研究』で法学博士とされました。1966年から皇學館大学、京都産業大学などで教鞭を執られ、その間、文部省教科書審議官、モラロジー研究所教授、京都宮廷文化研究所代表などを務められました。元号やご即位など皇室関係のテレビ番組においても、学問的立場からのコメンテーターとしてご活躍されています。

さて、今回は「日本書紀から美濃古代史の謎を解く」と題して、美濃国の古代史についてのお話を拝聴します。日本最古の勅撰歴史書『日本書紀』の完成は720年で、今年は完成から1300年の記念すべき年でもあります。その年に、所先生の講演をお聞きして、ふるさとの古代史について考えていただく機会になればと思います。

### 岐阜県文化財保護協会

岐阜市藪田南 5-14-12  
県シンクタンク庁舎内  
Tel/Fax 058(214)9112  
E-mail hogo@gifu-bunkazai.jp